

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 26 年 6 月 16 日に鳥類調査を実施した。天気は晴で、気温 28.2～31.0℃、東から南寄りの風 3.0～4.0m/sec であった。調査当日は中潮で、干潮が 13 時 13 分(13cm)、満潮は 20 時 5 分(196cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	14:00-15:07	10:40-11:28	12:25-13:07
天候	晴れ	晴れ	晴れ
気温(℃)	29.8	28.2	31.0
風向	南南東	東	南
風速(m)	4.0	3.0	3.2
備考	ヨシ原でオオヨシキリがさえぎり。 東なぎさの東側に干潟が干出し、カモメ類が多数休息。	砂浜に人が 20 人ほど、海上にはヨットが数隻。	干潟が広く干出していた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった	カワウ(1,598 羽)	カワウ(591 羽)	コアジサシ(310 羽)
鳥類上位 2 種	ウミネコ(258 羽)	コサギ(35 羽)	カワウ(130 羽)
その他の鳥類	カルガモ、スズガモ、カンムリカイツブリ、サギ類(ヨシゴイ、ダイサギ等)、シギ・チドリ類(シロチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ等)、ユリカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、アジサシ	カルガモ、ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ。	カルガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、シロチドリ、イソシギ、ウミネコ、オオセグロカモメ、ハクセキレイ。
備考	・汀線際では、カワウやカモメ類が休息。 ・汀線際や干潟では、シロチドリ、ミヤコドリ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、などのシギ・チドリ類が採食。 ・ヨシ原でヨシゴイを確認。 ・重要種として、11 種を確認(ヨシゴイ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、ミヤコドリ、コアジサシ等)。	・第六台場や鳥の島では、500 羽以上のカワウを確認。 ・カワウとサギ類は樹上で繁殖しており、幼鳥を確認。 ・重要種として、2 種を確認(ダイサギ、コサギ)。	・コアジサシが調査範囲に広く分布し、干潟上で休息や、浅瀬で採食。 ・干潟では、カワウが休息。 ・シロチドリが干潟で採食。 ・重要種として、5 種を確認(ダイサギ、コサギ、シロチドリ、イソシギ、コアジサシ)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種	5月			6月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法*1	種の保存法*2	環境省RL*3	東京都RDB(区)*4
1	カモ	カモ	カルガモ	14	12	18	19	11	7				
2			スズガモ	12			16						留
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	3			4						
4	カツオドリ	ウ	カワウ	236	851	55	1598	591	130				
5	ペリカン	サギ	ヨシゴイ				1					NT	CR
6			ゴイサギ		3			4					
7			アオサギ	4	30	11	16	23	5				
8			ダイサギ	29	3		19	4	2				VU
9			コサギ	12	7	14	18	35	2				VU
10		トキ	クロツラヘラサギ	1			1					EN	CR
11	ツル	クイナ	バン	1									VU
12	チドリ	チドリ	コチドリ	3		2							VU
13			シロチドリ	6		3	7		4				VU
14			メダイチドリ	1		13							NT
15		ミヤコドリ	ミヤコドリ	35			3						EN
16		シギ	タシギ	1									VU
17			オオソリハシシギ	2									VU
18			チュウシャクシギ	5		2							VU
19			ダイシャクシギ	1			1						CR
20			ホウロクシギ				1						VU
21			アオアシシギ	7									NT
22			ギアシシギ	10	11	5							VU
23			イソシギ	1	1	3			1				VU
24			キョウジョシギ		34	35							VU
25			オバシギ	19									EN
26			トウネン	47									NT
27			ハマシギ	179									NT
28		カモメ	ユリカモメ			1	1						
29			ウミネコ	37		6	258		2				
30			オオセグロカモメ	12		2	10		1				
31			コアジサシ	8		123	2		310		国際	VU	EN
32			アジサシ	219			1						
33	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1				2				
計 7目11科33種				27種	10種	15種	18種	6種	11種	0種	1種	7種	24種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会, 2012)に従った。

*1文化財保護法:

*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

*3環境省レッドリスト: EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

*4レッドデータブック東京2013: CR:絶滅危惧I A類、EN:絶滅危惧I B類、VU:絶滅危惧II類、NT:準絶滅危惧、留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2013年. レッドデータブック東京2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)解説編~.

<葛西人工渚>



○調査地点の状況

干潟から東側を望む。

奥に見えるのは東京ディズニーランド。干潮時のため、干潟はかなり広い。砂っぽい箇所や泥っぽい場所が混在する。観察範囲は以下のとおり。



 観察範囲



○出現種 (ホウロクシギ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) にランクされている。似ているダイシャクシギとは腰や腹が白色であることで識別できる。葛西人工渚では干潟の中央部で採食していた。



○出現種 (ミヤコドリ)

日本には越冬のために飛来し、秋から春まで見られるが、まれに越夏する。レッドデータブック東京2013では絶滅危惧ⅠB類 (EN) にランクされている。葛西人工渚では干潟の汀線際で採食していた。



○出現種 (カワウ)

葛西人工渚では、汀線付近で休息していた。



○出現種

(カルガモ)

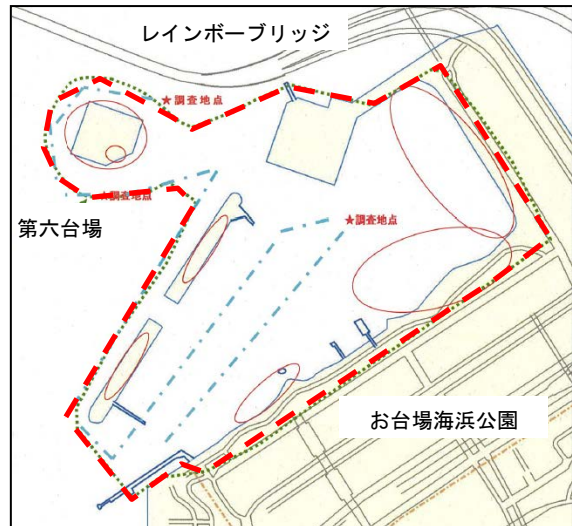
干潟上で休息していたが、調査員に気づいて移動し始めた。

<お台場海浜公園>



○調査地点の状況

お台場海浜公園の砂場と第六台場、鳥の島が調査範囲。詳細な観察範囲は以下のとおり。



観察範囲



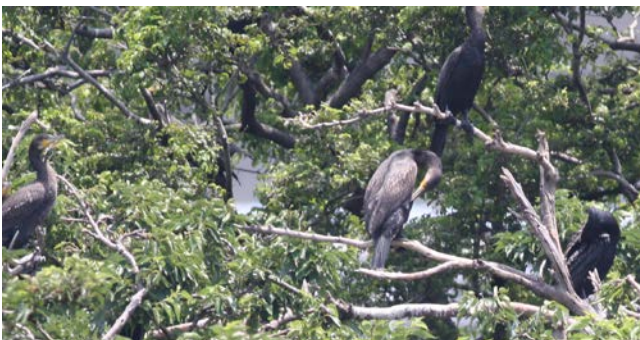
○出現種 (ゴイサギの幼鳥)

幼鳥は写真のように黒褐色で黄白色の斑点があることから「ホシゴイ」とも呼ばれる。成鳥は頭頂と背が紺色で体下面は白い。



○出現種 (コサギの幼鳥)

第六台場などの樹上ではカワウ以外にもサギ類が繁殖している。ゴイサギ、アオサギ、ダイサギ、コサギも繁殖しており、幼鳥を確認した。



○出現種 (カワウ)

第六台場や鳥の島に集団で休息していた。



○出現種 (アオサギ)

水際で休息していた。

<森ヶ崎の鼻>



○調査地点の状況

昭和島、京浜島、羽田空港に囲まれた干潟。奥に見えるのは、東京モノレール。北側には森ヶ崎水再生センターが存在する。詳細な観察範囲は以下の通り。



観察範囲



○出現種 (コアジサシ)

種の保存法では国際希少野生動植物に、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類 (VU) に指定されている。干潟で群れが休息していた。森ヶ崎の鼻に隣接する水再生センター屋上の人工営巣地で繁殖しており、現在成鳥が約 700 羽、巣が 300 巣ほど確認されている。

(<http://www.littletern.net/>)



○出現種 (カワウ)

比較的地盤高の高い場所に集まって、休憩していた。



○出現種 (カルガモ) 水際で休憩していた。